

ダイハツ九州アリーナ (中津市総合体育館)



所在地：大分県中津市大字大貞377-1
 敷地面積：5,472.66㎡
 延床面積：5,978.9㎡
 アリーナ面積：2,780㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上2階建
 設計：中津市
 設計・監理：(有)瀬口建築設計事務所
 施工：電気/千歳電気工業(株)
 竣工：平成20年3月

新たな街づくりの柱として、生涯スポーツの推進、日常スポーツの定着化を市民に普及させるためのスポーツ施設が完成。1kWメタルハライドランプ搭載2灯用バンクライトを分散配置にして、多目的に競技が行える照明環境を実現しています。

機能性と規模を兼ね備え、スポーツの普及・振興を目的とした屋内運動施設

中津市ではスポーツ振興を新たな街づくりの柱として取組んでおり、市の新たなスポーツ拠点施設として、ダイハツ九州アリーナが緑豊かな中津市郊外の大貞総合運動公園内に今年3月に完成しました。生涯スポーツの推進、日常スポーツの定着化、さらには競技スポーツの普及・振興を目的として多目的に競技が行える総合屋内運動施設となっています。

2008年9月に行われるチャレンジ大分国体の女子バスケットボール、空手道競技のメイン会場にもなっており、大会終了後は武道場としても活用できます。トレーニング機器なども整備し、多様な市民ニーズに応える機能性と規模を兼ね備えた施設として、各種全国規模の大会やイベントなどの誘致を計画しています。

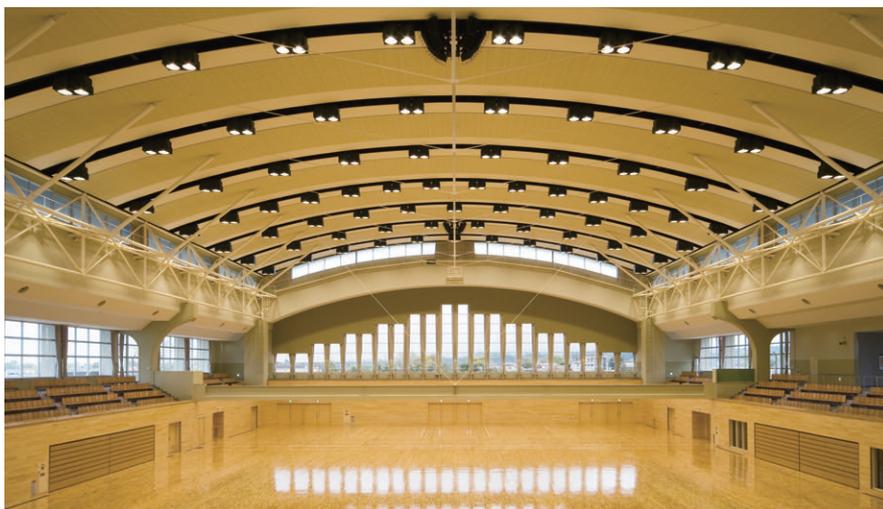
緩やかに弧を描いた天井の黒色トラスに特注の1kWメタハラバンクライトを分散配置

アリーナは40m×69.5mの広さでメインアリーナとサブアリーナを共有した構造となっており、バスケットボール3面、バレーボール4面、バドミントン14面を確保でき、可動式も含めて約1,700の観客席を備えた規模を有しています。天井面はメインアリーナ側が約7mスパン、サブアリーナ側が約6.5mスパンで黒色のトラスを配しており、そのトラス部分に1kWメタルハライドランプ使用の2灯用バンクライト(光補償装置付)を分散配置しています。

メインアリーナ側の照明は、長手方向に対し両サイドのトラス部分に14台、中央側に10台配置することにより、競技を行う中央エリア部分の照度を確保して、ムラのない明暗の差が少ない照明環境を実現しています。メインアリーナ内の平均水平面照度は1500lx、均斉度0.50を確保し、公式競技が行える基準値を十分にクリアしています。

サブアリーナ側の照明は、両サイドのトラス部分に11台、中央のトラスに10台配置して、メインアリーナと同様に平均水平面照度が1500lx、均斉度0.50を確保しグレアの軽減も配慮されています。

観客席の周囲に設けられた1周240mのランニングコースにはFHT32W1灯用ダウンライトを配置し、またトレーニング室ではFHP45W4灯用ルーバ付スクエア器具を採用して、アリーナ以外にも多目的に利用できる充実した施設の明るさをサポートしています。



アリーナ全景 手前側がメインアリーナで奥側にサブアリーナを望む。なだらかに弧を描く黒色トラスに塗装色を合わせた、1kWメタルハライドランプ搭載特注2灯用バンクライトを分散配置



観客席から望むアリーナ全景 公式競技レベルまで対応する平均水平面照度1500lx、均斉度0.50を確保する



サブアリーナ バスケットボールコート1面を確保するサブアリーナ

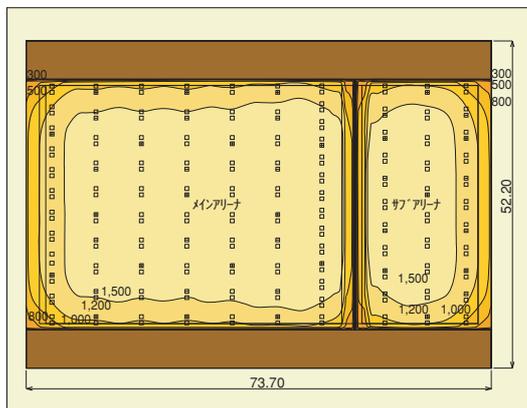


トレーニング室 FHP45W4灯用ルーバ付スクエア器具を等間隔に配置



特注仕様(指定色塗装)の2灯用バンクライトルーバ付器具

■照度分布図



■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
アリーナ	電動昇降装置付バンクライト(特注)	HBL-10107(改)	172	1kW高効率形メタルハライドランプ(MF1000・L-J2/BU)
	電動昇降装置付バンクライト(特注)	HBL-10107-SLG(改)	20	1kW高効率形メタルハライドランプ(MF1000・L-J2/BU)
	(保安照明)			500W形ハロゲンランプ(JD110V425WN-EH)
	電動昇降装置付バンクライト(特注)	HBL-10107-SLG(改)	24	1kW高効率形メタルハライドランプ(MF1000・L-J2/BU)
	(非常照明)			500W形ハロゲンランプ(JD110V425WN-EH)